

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Audi相模原	階数	地上2F
建設地	相模原市中央区共和三丁目1140番3	構造	S造
用途地域	準住居地域・準防火地域	平均居住人員	25人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	事務所・物販店・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年10月 竣工	評価の実施日	2015年4月1日
敷地面積	1,872 m <sup>2</sup>	作成者	(有)下舞建築設計事務所
建築面積	1,051 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,173 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 86%  
③上記+②以外の 86%  
④上記+ 86%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺の景観に配慮したシンプルな外観とし、北側の住宅地へ騒音や光害などの影響をおよぼさない計画とした。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
展示スペース、オフィス等は大きな開口を設け、昼光を採り入れ昼間の照明利用を抑える計画とした。	オフィスはO.Aフロアを採用し、レイアウト変更し容易に対応できるようにした。	住宅地のある北側道路、南側の国道16号線沿いに面し、植栽帯を設け周辺の景観に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI m=0.95、BEI m=0.82とし、建物外皮の熱負荷を抑制し、設備システムの高効率化を図った。	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	修理工場から発生する音が北側の住宅地へ影響を及ぼさないように、工場から直接住宅地へ向いた開口部を設けず、騒音対策を行った。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される